

愛知県ハンガリー友好協会会報

2025 年夏号

「ハンガリー刺繍サークル作品展」

2025年7月18日(金) から 21日(月) (10:00~18:00)、ギャラリーチカシン (名古屋市栄) において、第6回ハンガリー刺繍サークル作品展が開催されました。

今回は2023年に続いて、2年ぶりの開催となりました。これまで取り組んできたハンガリー各地のさまざまな刺繍を展示し、ハンガリー刺繍の多彩さ、広く知られているカロチャやマチョー以外にも、地域によってさまざまに異なる刺繍がたくさんあることを紹介しました。

あらたに刺繍地図を作成し、それぞれの刺繍がハンガリーのどの地方のものかが一目でわかるように工夫しました。



愛知県ハンガリー友好協会

第6回 ハンガリー刺繍サークル作品展

2025年7月18日(金)~21日(月) 10:00~18:00 入場無料

中央ヨーロッパに位置するハンガリーには地方ごとに多種多様な刺繍文化が息づいています。カロチャ、マチョー、ペーケーシュ、イーラーショシュ、シャルクス、シオアガード、パロツ、ベレグ、ブジャークなどの刺繍を展示し、それぞれの特徴や歴史についても紹介します。

🗨️ 解説
早稲田みか (大阪大学名誉教授)

👤 出展者
齋藤照美 磯部良子 井上茜 猪股真由美 北山裕子 斉藤優子 佐藤真奈美
志村美佐子 中根淑子 新美愛子 浜千代由起子 原田啓子 本間いづみ
町田都子 宮永安珠 八木里恵 山下鈴 山城奈都子 早稲田みか

主催：愛知県ハンガリー友好協会
後援：駐日ハンガリー大使館 リスト・ハンガリー文化センター 日本ハンガリー友好協会
愛知県 名古屋市 (公財)愛知県国際協会 (公財)名古屋国際センター 中日新聞社



カロチャ
カラフルで繊細

マチョー
鮮やかでびっしり

ベーケーシュ
シックな色合い

イーラーショシュ
現在はルーマニア



シャールクズ
独特の幾何学模様

シオーアガールド
カットワークの縁取り

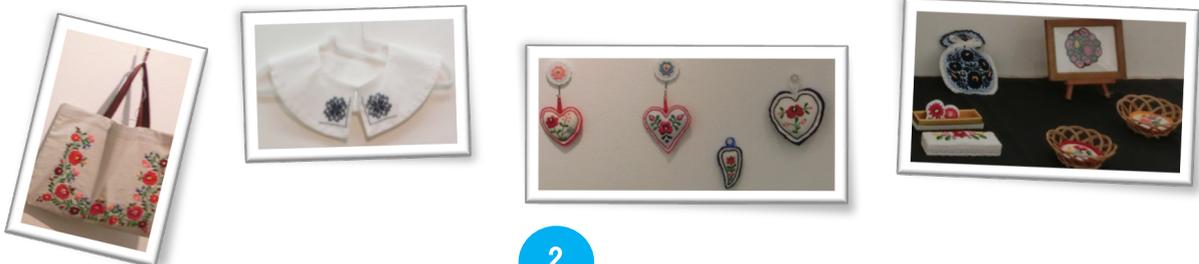
パローツ
素朴でかわいい

ベレグ
クロスステッチ

ブジャーク
くるくる渦巻き

作品は主に地方別にまとめて展示しました。パネルで簡単にその刺繍の主な特徴と代表的文様を示し、詳細については解説資料（早稲田みか・大阪大学名誉教授作成）を来場者に配布しました。19ページにわたり、それぞれの刺繍の歴史的成り立ち、パターンの特徴、ステッチの種類などが記されており、ハンガリー刺繍と一口に言っても、見た目も歴史的文化的背景もそれぞれかなり異なっていることが理解できるようになっています。

作品を見ていただき、その美しさや繊細さ、作成者の素晴らしい技術、刺繍を小物に応用するアイデアなどともに、ハンガリー刺繍の歴史文化についても知識を深めていただけたと思います。





来場者は4日間で472名、大勢の方に見ていただきました。中日新聞に掲載された記事を見ていらした方もかなりいらっしゃいました。たまたま通りかかって入っていらっしゃった方、ハンガリー刺繍をやっていて、わざわざ遠方から足を運ばれた方もいました。来場者のみなさまには会員が懇切丁寧に説明をし、刺繍だけでなく、そもそもハンガリーはどこにある国なのかから始まり、ハンガリーの文化全般についても多くの方に知っていただけたと思います。

ハンガリー刺繍をぜひやってみたくと、数名の入会者もありました。

このたびの刺繍サークル作品展は、多くの皆さまにご来場いただき、おかげさまで大盛況のうちは無事終了いたしました。



愛知 総合 尾・な東・近知 2025年(令和7年)7月16日(水曜日)

中 日 新 聞

ハンガリー刺しゅう
模様、大きさ多彩に
名古屋 18日から作品展

県ハンガリー友好協会の「ハンガリー刺繍サークル作品展」(中日新聞社後援)が18日から、名古屋・栄の森の地下街にあるギャラリーチカシンで始まる。21日まで。サークルのメンバー約20人が作った刺しゅう作品200点ほどを展示する。コースターやテーブルクロス、バッグ、エプロンなど大きさも形も多彩なものがそろつ。中欧のハンガリーには刺しゅう文化が根付いており、模様や色の使い方、縫い方など、地方ごとに異なる特徴がある。作品鑑賞に役立ててもらおうと、それ

作品展への来場を呼びかける志村さん(小牧市内で)

ら解説するパンフレットも来場者に配布する。協会理事の志村美佐子さん(74)は「作品を見て楽しむだけではなく、ハンガリー刺しゅうの奥深さも知ってもらえたらうれしい」と話している。入場無料。午前10時～午後6時。(三宅駿平)

YAHOO! JAPAN ニュース IDでもっと便利に新規取得
ログイン ふるさと納税でPayPayポイントもらえる

キーワードを入力 | Q

トップ 速報 ライブ エキスパート オリジナル みんなの意見 ランク

新着記事 | オーサー | クリエイター | コメントーター

【名古屋市中区】多彩なハンガリー刺繍の世界！栄森の地下街で作品展はじまる、月曜まで

ライター (名古屋市)

7/20(日) 6:05

Yahoo ニュースにも紹介されました！

<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/c6cb0598d1c836a5ef688b2d72ffa8932f1dc87b>

ハンガリー刺繍サークルでは、斎藤先生のご指導、早稲田先生の解説、会員同士の情報交換などで刺繍の技法や文化的背景の知識を深め、それぞれ自分のペースで勉強しています。

今回の展示会とサークルの様子を、私が学んだことを加えながらお伝えします。

2年ぶりに開催されたハンガリー刺繍サークル作品展は盛況で、ハンガリー刺繍の人気ぶりを実感いたしました。ハンガリーに旅行された方、その時買われたか、お土産などで刺繍作品を持っていらっしゃる方、他の種類の刺繍をされる方など、いろいろな方が来られました。

中でも時々、たまたま通りかかりカロチャ刺繍の鮮やかさに目を奪われて立ち寄る方がいらっしゃいました。そして多くの方からリシュリュウ刺繍を施したカロチャ（図1、2、3）を見て、「これはレースの地に刺繍しているの？」と聞かれ、「そのレース地も刺繍しています」とその作成方法を解説しますと、とても感動されます。リシュリュウ刺繍はカットワークにニードルレース（注1）が入った、細かくて難しい技法です。私は元々レース全般を勉強していますが、ハンガリー刺繍を初めて1年ぐらいの方がリシュリュウ刺繍に挑戦し、完成していく様子に大変刺激を受けました。

マチョーの刺繍もカロチャ同様広く親しまれています。前回来られた方が「マチョーのバラでしたね」と解説を覚えて下さって、びっくりしました。ぎっしりと刺す作品が多く、入会の頃何枚かマチョーを作って、サテンステッチを刺すのにだんだん慣れていきました。カロチャもマチョーも古いデザインでは白1色や、2、3色です。そのうちマチョーでアイレットホール（丸い穴）がすごく沢山ついたデザインのものを作れたらと思っています（図4、5）。

ベーケーシュは今回壁掛けやテーブルクロスなどの作品が多いですが、以前何人かバッグを作っている方もいらっしゃいました。地の色がベージュで落ち着いた雰囲気なので、バッグやクッションなどにも使いやすいです。「カロチャより私は好き」「これはこれでいいですね」という感想も聞かれました。



図1
リシュリュウ刺繍の入ったカロチャ



図2
水色の囲みの中はリシュリュウ刺繍のロールステッチ、アブローダー刺繍糸使用

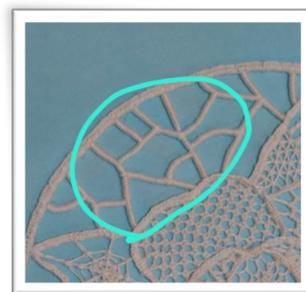


図3
同じく囲みの中はニードルポイントレースのロールステッチ、レース糸使用、手法は全く同じ

図 4

マチョー、かぎ針レースの縁取り付き



図 5

マチョー、アイレットホールのある小さなドイリー



展示では他の地方の刺繍も数点ずつ展示しました。刺繍に詳しい方もイーラーショシュ、マチョーの花、シャールクズのビーボルステッチ（注2）などの独自の刺繍技法に感心されました。またモチーフや色、刺繍糸や技法の種類によって雰囲気が違うといったハンガリーにおける刺繍の多様性にほとんどの方が驚かれました。

私の展示作品も2点紹介いたします。サテンステッチにすっかり慣れてから、自分で図案を思い通りにレイアウトしたりアレンジする気持ちの余裕が出てきました。シャールクズ刺繍はB5サイズでブックカバーかドイリーにしようと思い、ドロソフトで切り貼りしてレイアウトしました。線路みたいなラインと青と緑の「触角が出ているような」モチーフが気に入ってこの図案を選びました。ビーボルステッチはサテンステッチの何倍も時間がかかりました。あまり出来が良くないと思いながら輪郭を黒のホルベインステッチで刺していくと、引き締まって体裁が整いました。結局、刺繍で満足してしまい、仕立ての方は簡単なドイリーにしました（図7）。



図 6

ベーケーシュ、ドラヴァークズ（ドラヴァスグ）、シオーアガールドのサンプル



図 7

シャールクズ、黄土色や青色、緑色はビーボルステッチ



図8 ベレグの表側



図9 ベレグの裏側と
裏を一部拡大したもの



図10 ハンガリー語のレシピから
編んだレース

もう一つは今年完成したベレグ刺繍です。図案を考えているときに実物のベレグ刺繍を見せていただき、ラインとモチーフをそのデザインにして、空白に図案本の小さいモチーフを足し、ライン2列の間にドローンワークを2種類入れました。実物は先生からも見せていただきましたが、どちらも裏に糸始末が無かったので、それを参考に表のクロスステッチの中に糸始末をしました。裏をきれいにするため気を付けて刺繍すると何故かミスをする確率が減った気がします(図8、9)。

サークル内には私よりずっときれいに速く刺繍される方達があります。私の秀でる部分は縁のレースの編み方や技法など周辺情報を調べるのが好きな事ぐらいです。遅い私はまだパローツとブジャークを今から作る段階です。展示が終わって新しく図案を決めレイアウトを考えて布を準備するのが楽しみです。いずれかの作品で、その作品で使った刺繍糸をギンプ(飾り糸)に使用するボビンレースを縁に飾ってみたいです。

ハンガリーはレースも盛んです。かぎ針やボビンレース以外に、とても繊細なハラスレースがあります。先日ハラスレースはほとんど門外不出で職人さんが11人しかいないのだと聞きました。また会員の方からフヴェイ(Hövej)のレース刺繍(höveji csipke)の情報をシェアしていただき、新たに興味を持ちました。こちらは職人さんが3人だそうです。

サークル内では作品を小箱やアクセサリーにしたり、洋服のえりや袖などに刺繍をする工夫も盛んです。ハンガリーの方がフルタの刺繍を着物のうち襟にして着付けている動画も会員のご家族から見せていただきました。新たにトゥラやフルタの刺繍を勉強したら、見習って小物を作ってみたいです。

最近ベテランの方達の退会が相次いだので寂しい思いです。それでもまた入会される方との出会いも楽しみです。自分にできることは、今まで先生や先輩の方に教えていただいたことを新会員の方や次世代にできる限りお伝えすることだと思えます。温かい目でサークルの活動を見守ってくださるようお願いいたします。

(注1) カットワークとニードルレース カットワークはボタンホールステッチなどで補強しながら布を切ってレース模様、ニードルレースは糸のみで空間をかがってレース模様にする。

(注2) ビーボルスステッチ ホルベインステッチ(なみ縫いして、なみ縫いで目と目の間を埋めて戻るステッチ)で面を埋める。次の列は前列の半目ずれたところに刺すため、レンガのような模様になるが、細かいので布を目に近づけないと模様が見えない。

ハンガリー語入門講座でハンガリー語を学ばれ、ブダペストに旅行された浅野紳一郎さんからのご報告です。

ハンガリー語講座でお世話になりました浅野紳一郎です。

7月27日の日曜日に Budapest (ブダペスト) から帰国しました。名古屋の蒸し暑い熱気に圧倒されました。Budapest も旅の前半を除いて暑かったですが、乾燥していたので日陰は涼しく感じました。Magyarország (ハンガリー) はシニアにとっても優しい国でした。空港からのバス、市内、郊外へのバス、トラム、地下鉄すべて無料でした。検札も時々ありましたが、ハンガリー語で自分の年齢を言えばパスポートを見せることなく OK でした。Deák Ferenc tér (デアーク・フェレンツ広場) の近くのアパートメントホテルに9泊して、暑いので午前中に活動して、昼過ぎには一度宿に戻りました。王宮美術館や国立西洋美術館ではムンカーチ、ブリューゲル、デューラー、クラーナッハなどの見たかった数々の絵を鑑賞することができました。オペラ座では「フィガロの結婚」を楽しむことができました。ケルビーノ役(若いハンガリーのオペラ歌手)のアリアが素晴らしく今でも耳に残っています。Gödöllői Králya Kastély (ゲデレー宮殿) の小ホールで大阪万国博のハンガリー館でも歌われている Magyarország のフォークソング「Tavaszi szél vizet áraszt (春の風が水を溢れさせる)」を合唱している場面に偶然出会いました。ハンガリー語を少し学んだおかげで理解することができました。virágom (私の花：私の愛しい人) という言葉が何回も繰り返されます。覚えやすいメロディーで日本の音階に近いと感じました。

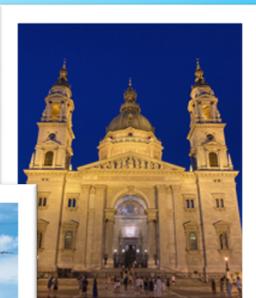
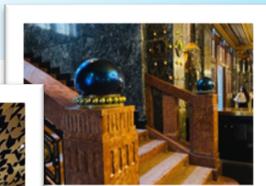
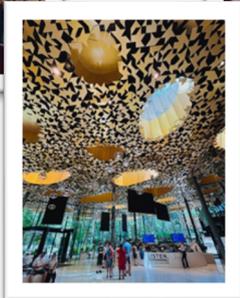
毎夜、Liszt Ferenc tér (リスト・フェレンツ広場) の étterem Menza (レストラン・メンザ) でテイクアウトして宿でシェアしました。とにかく量が多いのです。決してシニアが一人で食べる量ではありません。近くのスーパー Spar (シュパル) でサラダや果物、pogácsa (ポガーチャ)、Tokaji bor (トカイ・ワイン)、Egri bikavér (赤ワインのエグリ・ヴィカベール) などを買うことができました。

お土産は méz (蜂蜜)、vörös bor (赤ワイン)、sajt (チーズ) などの食料品や偶然見つけた Liszt Ferenc Academy of Music (リスト音楽院) 付近の楽器店でバイオリンの松脂を買うことができました(バイオリンは始めてまだ2年です)。

ハンガリー語講座でいろいろな情報を教えていただいたことが今回の旅で大変役立ちました。片言のハンガリー語で Szentendre (セントンドレ) のバスターミナルでおばあさんと話すこともできました。

皆さんには大変お世話になり感謝しています。Gyula 先生や皆さんによるしくお伝えください。ありがとうございました。





今後の予定

- ・小牧市民まつり小牧山会場「夢・チャレンジげんき村」出展
10月25日(土)、26日(日)
- ・総会 名鉄グランドホテル
10月27日(月)18:30~
- ・カロタセグの灰と薔薇 Hamvak és rózsák Kalotaszegen
(国際芸術祭「あいち2025」パートナーシップ・プログラム)
ナトゥール・ビューフェー 文化センター店
11月16日(日) 第一部 13:30~15:00、第二部 15:15~16:15
- ・ハンガリー料理でクリスマス会 名古屋国際センター
12月14日(日)



志村さんちのパプリカ、
今年も元気に育っています。

2025年 夏号をお届けします。今年は「ハンガリー刺繍サークル作品展」を2年ぶりに開催することができました。たいへん多くの方々にご来場いただき、盛会でした。メンバーのみなさんの熱心さ、技術力の高さ、アイデアの豊富さには毎回驚かされます。新入会員も増えそうで、楽しみです。

暑さはまだしばらく続きそうです。会員のみなさまのご健勝を心よりお祈りもうしあげます。

みなさまからのご意見や情報、記事などをお待ちしています。

愛知県ハンガリー友好協会

E-mail: ambt@hotmail.co.jp

<http://aicsimagyar.sakura.ne.jp/wp/>

<https://www.facebook.com/aicsimagyar>